

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エール千代田		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高齢者（デイ利用者）、地域等、関わりを持てる機会がある。	・お子様が、さまざまな人とつながりが持てるイベントがあります。支援者の見守りの元、お子様が、安心して交流できるよう支援しています。 ・高齢者デイサービス利用者に関わりやお手伝いを通して、社会の一員として認められるような体験ができるように取り組んでいます。	・食育イベント等、イベント利用を促していきます。 ・季節のイベントを通じて、他施設、地域と関われる機会を設けます。 ・お子様、ご兄弟を含めて、交流できるような機会を提供できるようにします。
2	事業所の活動プログラムが固定されないよう、工作、公園、遠足、外食、おやつ・昼食作り等、活動に取り組んでいます。	・ご家庭、学校以外の社会を学べるよう、支援者と公園や外食にでかけ、その場のルールを学べる環境を提供しています。 ・お友達と一緒に出かける体験、おやつ・昼食作りを通し、協調性を養えるようにしています。	・お子様の安全に配慮しながら、公園や公共施設、公共交通機関など様々な社会体験ができるように支援します。
3	お子様の「やりたい」「できた」達成感を共感できる関わり方をしています。	さまざまな活動（ダンボール工作、調理活動、公園など）を支援者と一緒に取り組み、達成感を感じ取れるような関わりを意識して、お子様と関わっています。	・支援者が自己研鑽しながら、質の良い関わり方をめざしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動等のスペースが十分確保されているが、特性に合わせた環境になっていない。	・聴覚過敏をお持ちのお子様、注意が散れやすいお子様が過ごしやすい環境になっておりません。 ・パーテーションで空間を仕切り、目につきにくいようにしているが、対応しきれないことがある。 ・物理的な構造を改善することが難しい。	・特性を把握しながら、利用する日を調整していきます。 ・活動内容に応じた環境を考えながら、お子様が集中できる環境を設定させていただきます。 ・必要に応じて、個人のスペースやクールダウンできる場所を設定させていただきます。
2	家族間の交流会、きょうだい同士の交流会の開催等、企画、運営できる機会が少ない。	・ニーズの調査、企画、運営する準備時間の確保ができない。 ・交流会の講話や適切な助言等、わかりやすく伝えられる職員がいない。	・必要に応じて企画ができるようにしていきます。 ・保護者の知りたい情報を把握し、必要な情報を提供できるよう、情報収集に取り組みます。
3			